

「ロモソズマブとテリパラチド連日製剤の腰椎骨密度増加に与える骨代謝回転の影響」
について

- 研究の意義・目的
骨粗鬆症は骨の『病的老化』で明らかな『疾患』であり、椎体、大腿骨近位部での骨折が生じやすく介護が必要となった主な原因として骨折が挙げられることからその対策は医療のみならず社会的にも重要な課題となっており、骨折危険性の高い骨粗鬆症に対する治療は重要性を増していると考えられます。
重症骨粗鬆症では骨折リスクが高いため、できるだけ短期間にそのリスクを低減させることが課題であり、早期の有効性に関する情報は臨床上重要であり、本研究ではテリパラチド連日製剤とロモソズマブそれぞれの短期的治療効果（腰椎骨密度増加）に対する各薬剤投与前の骨代謝マーカーの影響について検討し、実臨床での有効性を明らかにします。
- 研究対象者
2019年8月1日 ～ 2020年11月30日までに骨粗鬆症と診断され、ロモソズマブもしくはテリパラチド連日製剤投与を受けられた患者さんを対象とします。
- 研究方法
本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。
カルテから転記する内容は年齢、性別、身長、体重、BMI、骨折既往歴、採血データ；P1NP、TRACP5b、Ca、25（OH）D、骨密度YAM；腰椎です。
（個人が特定出来る情報は転記しません）
- 試料・情報の管理責任者
医療法人社団 飛翔会 福山整形外科クリニック
院長 古川 陽介
- 研究期間
委員会承認日 ～ 2022年3月31日
- 個人情報の保護について
調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先
〒 720-2123
広島県福山市神辺町川北 1533
T e l : 084-960-3030
医療法人社団 飛翔会 福山整形外科クリニック
院長 古川 陽介（研究責任者）